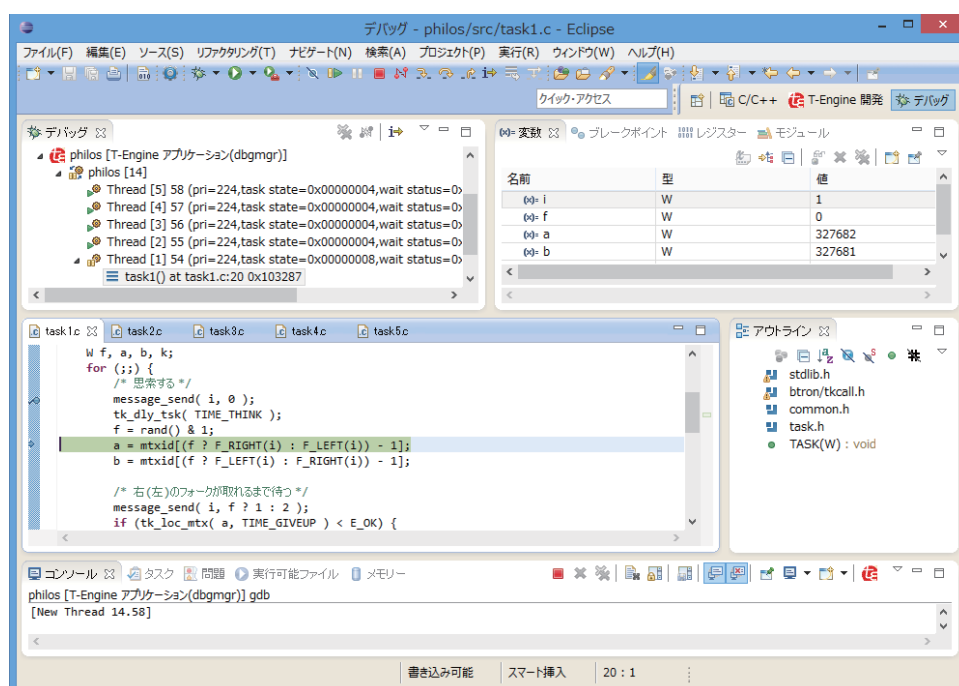


システム稼働中のデバッグやLAN接続の
環境に対応したT-Kernel用統合開発環境



Eclipse for eclipse PMC T-Kernel NEXT



- オープンソースで世界に広く普及しているEclipseプロジェクトの成果を、T-Kernel 2.0、μT-Kernel 2.0のソフトウェア開発に利用
- プログラムの作成、コンパイルから転送、実行、デバッグまで一貫した作業ができるGUI統合開発環境
- ICE 不要のため開発コストの低減が可能
- システム稼働中に一部のタスクのみを停止、ステップ実行、デバッグするノンストップデバッグ機能に対応
- ターゲットと開発用ホストPCとの間をLANで接続可能（シリアル回線不要）

eclipse で組み込みソフト を快速開発

パーソナルメディアでは、組み込み向けソフトウェアの開発効率を向上するために、オープンソースのGUI統合開発環境であるEclipseをベースにしたT-Kernel開発環境を開発し、「Eclipse for PMC T-Kernel」^(*)の名称で2007年5月からご提供してきました。その機能強化版となる「Eclipse for PMC T-Kernel NEXT⁽²⁾」は、新開発のデバッグマネージャ (dbgmgr) を利用することによって、「ノンストップデバッグ機能」を実現した新しい開発環境です。本機能により、たとえば特定のタスクにのみブレークポイントを設定したり、T-Kernelや他のデバッグ済みタスクの動作を継続しながら一部のタスク

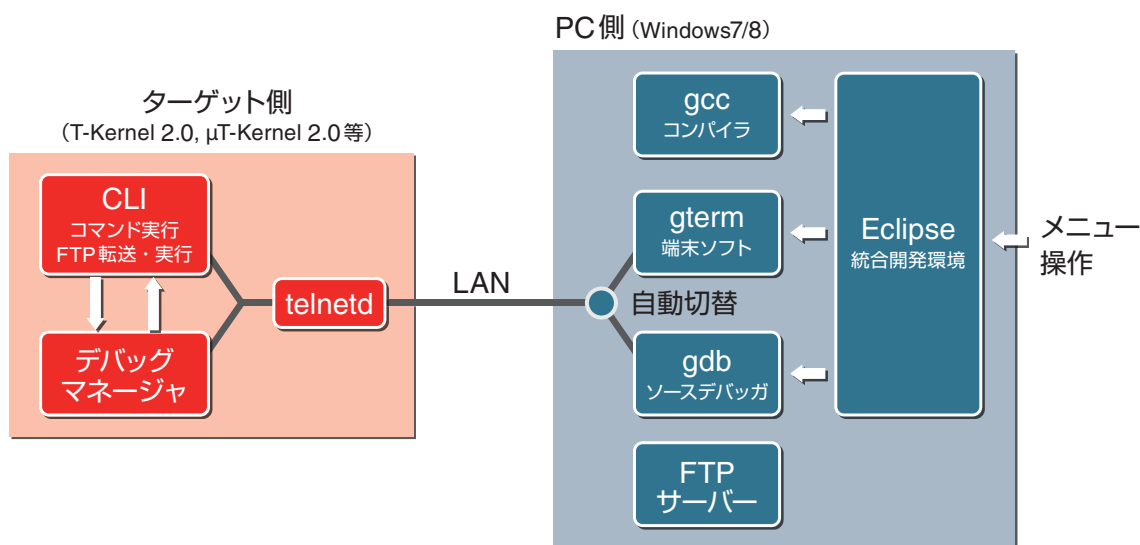
のみをステップ実行することができ、システム稼働中にいろいろな状況下でのデバッグが可能となります。

T-Kernel用Eclipseでは、開発やデバッグの際にICEを使用せず、開発対象となっている実際の組み込み機器（実機）と開発用ホストPCの間はソフトウェア制御の通信回線で接続します。「Eclipse for PMC T-Kernel NEXT」では、従来のシリアル回線に加えて、ご要望の多かったLAN接続の環境にも対応しました。

(*) 「Eclipse for PMC T-Kernel」はパーソナルメディアの T-Kernel 関連製品に付属しています。

(2) "NEXT" は "Non-stop EXecution of T-Kernel" の略です。

「Eclipse for PMC T-Kernel NEXT」の仕組み



評価版

「T-Kernel 2/x86 評価キット」^(*) 上ですぐにお試しいただける評価版です。

※製品開発に使用する場合は、別途ライセンス費用が必要です。

Eclipse for PMC T-Kernel NEXT 評価キット
標準価格 90,000円 (税別)

(*) 本製品に「T-Kernel 2/x86 評価キット」90,000円 (税別) は含まれておりません。別途お求めください。

カスタム版

お客様の機器やハードウェア上に「Eclipse for PMC T-Kernel NEXT」を移植してご提供します。

パーソナルメディア株式会社 営業部
E-mail: te-sales@personal-media.co.jp
TEL.03-5759-8305 / FAX.03-5759-8306

パーソナルメディア株式会社 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-29-1 コイズミビル

TEL.03-5759-8305 / FAX.03-5759-8306 / E-mail:te-sales@personal-media.co.jp / http://www.personal-media.co.jp/

■TRONは、「The Real-time Operating system Nucleus」の略称です。■TRON、T-Engine、T-Monitor、T-Kernel、μT-Kernel は、コンピュータの仕様に対する名称であり、特定の商品を目指すものではありません。
■その他の商品名などは各社の商標または登録商標です。■本資料に記載された製品の仕様、外観イメージ、価格などは、本資料の作成日現在のものです。最終的に販売される製品では、変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。ご購入の際は、最新情報をご確認ください。